

## 地域における企業の事業継続に関するアンケート

### 【アンケートの趣旨】

将来的な人口の減少や、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済的影響など、中小企業が地域で事業を継続することが難しくなっています。企業の減少は経済活動の停滞のみならず、県民生活ひいては地域の維持にも大きな影響を与えることから、県として企業の事業継続支援策を検討するところです。ついては、検討に先立ち県内企業経営者の皆様に企業の状況やご意向等をお尋ねしますので、お手数をおかけしますが、ご協力の程よろしく願いいたします。

＜アンケート投函期限＞ 2021年 月 日（金）

（記入にあたってのお願い）

・経営者（代表者又は事業主）本人が回答してください。 ・回答に当たっては該当する項目に☑をつけてください。

アンケートに関する問合せ先 鳥取県商工労働部企業支援課 経営革新・経営改善担当

電話番号 0857-26-7243 メールアドレス kigyou-shien@pref.tottori.lg.jp

### 【A.貴社の概要について教えてください】

1 会社名 (又は屋号)	※会社名・屋号がない個人事業主の方は記載不要です。			2 設立・創業からの年数	年
3 経営者	役職	氏名	年齢	歳	
4 電話番号					
5 事業に用いる土地の所有状況（主なもの）	<input type="checkbox"/> ① 賃貸 <input type="checkbox"/> ② 所有 <input type="checkbox"/> ③ 答えたくない／分からない				
6 事業に用いる建物の所有状況（主なもの）	<input type="checkbox"/> ① 賃貸 <input type="checkbox"/> ② 所有 <input type="checkbox"/> ③ 答えたくない／分からない				

### 【B.事業の状況について教えてください】

1. 売上高の傾向をどう感じていますか？当てはまるものを1つ選んでください。

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大以前の5年間     ① 増加傾向     ② 変わらない     ③ 減少傾向  
 (2) 新型コロナウイルス感染症拡大以降     ① 増加傾向     ② 変わらない     ③ 減少傾向

2. 事業の先行きについてどう感じていますか？当てはまるものを1つ選んでください。

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大以降     ① 明るい     ② 暗い  
 (2) 新型コロナウイルス感染症収束後     ① 明るい     ② 暗い

3. 事業の引継ぎについて計画を策定するなど、中長期的な目標やビジョンを設定して経営を行っていますか？

当てはまるものを1つ選んでください。     ① はい     ② いいえ

4. 事業の地域での評価についてどのように感じていますか？もっとも当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 地域に必要であり、地域に評価されている     ② 地域に必要なが、地域に評価されていない  
 ③ 地域に必要とまで言えないが、地域に評価されている     ④ 地域に必要なとまで言えず、地域に評価されていない  
 ⑤ 答えたくない

### 【C. 事業継続の見通しについて教えてください】

1. 10年後に事業を継続していると思いますか？当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 事業を継続している       ② 事業を継続していない       ③ 現時点ですでに事業を行っていない

※②、③を選んだ方のみご回答ください。

2. 事業を継続していないと思う理由は何ですか？もっとも当てはまるものを1つ選んでください。

(すでに事業を行っていない場合を含む)

- ① 経営状況がよくない       ② 後継者がいない・見つからない       ③ 市場の変化による需要減  
 ④ 地域の取引先減少による需要減       ⑤ 最新技術が習得できない       ⑥ 継続する意欲がない  
 ⑦ 体力が続かない       ⑧ その他

その他の具体的な内容

2. 貴社が10年後に事業継続するため、どういった課題があると考えますか？当てはまるものすべてを選んでください。

- ① 資金面の強化       ② 多角化・新事業展開       ③ 事業モデルの変革       ④ 販路拡大  
 ⑤ 地域の需要増       ⑥ 地域の評価       ⑦ 市場の拡大       ⑧ 市場の構造変革  
 ⑨ 従業員の確保       ⑩ 従業員の育成       ⑪ 技術の継承       ⑫ 技術の強化  
 ⑬ デジタル化の推進       ⑭ 後継経営者の確保       ⑮ 後継経営者の育成       ⑯ 設備の増強・更新  
 ⑰ 防災対策       ⑱ サプライチェーンの確保       ⑲ その他

その他の具体的な内容

### 【D. 事業の引継ぎについて教えてください】

1. 将来的に事業を自分以外の経営者に引き継ぎたいと思いますか？当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 思う       ② 思わない／未検討

※①を選んだ方のみご回答ください。

※②を選んだ方のみご回答ください。

2. 事業を将来的に誰に引き継ぎたいですか？

3. 事業を引き継ぎたいと思わない理由は何ですか？

もっとも当てはまるものを1つ選んでください。

当てはまるものすべてを選んでください。

- ① 親族（子・孫・配偶者・その他親族）  
 ② 役員・従業員  
 ③ 創業者  
 ④ 親族・役員・従業員・創業者以外の第三者への事業譲渡／売却  
 ⑤ 検討中

- ① 創業後間がなく未検討  
 ② 後継者候補が年少で未検討  
 ③ 経営状況がよくない  
 ④ 業界の先行きが不透明  
 ⑤ 特別な技術・資産がなく引継ぐ必要を感じない  
 ⑥ 事業に特別な技術を要し引き継げる者がいない  
 ⑦ 子どもや親族に苦勞させたくない  
 ⑧ その他

その他の具体的な内容

## 【E. 事業の後継者について教えてください】

### 1. 現時点で事業の後継者・後継者候補はいますか？当てはまるものを1つ選んでください。

① 後継者・後継者候補がいる

② 後継者がいない

※以下、①を選んだ方のみご回答ください。

#### 2. 後継者・後継者候補はどういった方ですか？当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 子ども・孫  
 ② 配偶者  
 ③ 親族（配偶者・子ども・孫を除く）  
 ④ 従業員／役員（親族を除く）  
 ⑤ 従業員・親族以外の第三者  
 ⑥ 他事業者への事業譲渡

#### 3. 後継者への引継ぎについてどのような準備をしていますか？当てはまるものすべてを選んでください。

- ① 後継者候補にまだ打診していない  
 ② 後継者に打診し意思を確認した  
 ③ 後継者を役員・従業員に向け知らせた  
 ④ 後継者を取引先に向け知らせた  
 ⑤ 後継者を育成中  
 ⑥ 事業売却先を検討中  
 ⑦ 事業売却の受付中  
 ⑧ 引継ぎに向け計画を策定・策定中  
 ⑨ 財産の引継ぎなど手続き中  
 ⑩ 事業の引継ぎに向け経営改善取組中  
 ⑪ 具体的な取組なし

※他の選択肢に当てはまらない場合のみ

※以下、②を選んだ方のみご回答ください。

#### 4. 後継者・後継者候補がない理由は何ですか？もっとも当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 従業員／役員から選ばれるが現時点では未定  
 ② 後継者候補が年少で未検討  
 ③ 創業後間がなく未検討  
 ④ 後継者について検討していない  
 ⑤ 事業を自分以外の誰かに引き継ぐつもりがない  
 ⑥ 親族・従業員以外の第三者へ引継ぎたいが適当な候補がない  
 ⑦ 後継者候補に引継ぎを断られた  
 ⑧ 後継者候補に断られそうで引継ぎを打診していない

※以下、⑦、⑧を選んだ方のみご回答ください。

#### 5. 後継者候補に引継ぎを断られた／断られそうな理由は何ですか？当てはまるものすべてを選んでください。

- ① 遠隔地に居住している  
 ② 収益性が低い  
 ③ 事業債務の連帯保証を引き受けたくない  
 ④ 他にやりたい／やっていることがある  
 ⑤ 事業の先行きに不安を感じる  
 ⑥ 業務に魅力を感じない  
 ⑦ 業務が難しい  
 ⑧ 特別な技術の習得が困難  
 ⑨ 現時点では考えられない  
 ⑩ その他の理由

その他の具体的な内容

⑨ 親族・従業員等に適当な後継者候補がない

※以下、⑨を選んだ方のみご回答ください。

#### 6. 親族・従業員以外の第三者への事業引継ぎ（企業売却）について検討されていますか？もっとも当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 現在検討中     ② 今後検討したい  
 ③ 良い引継ぎ先があれば検討したい  
 ④ 検討する予定はない ⇒ 7について回答してください

※この設問は、6で④を選んだ方のみご回答ください。

#### 7. 第三者への事業引継ぎを検討しない理由は何ですか？当てはまるものすべてを選んでください。

- ① もともと事業を引き継ぐつもりはない     ② 財産の譲渡が困難  
 ③ 親族・取引先等関係者の理解が得られない     ④ 親族・従業員以外の第三者への引継ぎに心理的抵抗がある  
 ⑤ 引き受け手がないと予測されるので労力をかけたくない     ⑥ 特に理由はない ※他の選択肢に当てはまらない場合のみ  
 ⑦ その他

その他の具体的な内容

## 8. 事業を後継者に引き継ぐに当たって、どのようなことが課題となっていると思いますか？

当てはまるものすべてを選んでください。

- ① 収益力の向上       ② 後継者の決定       ③ 後継者の育成       ④ 後継者候補の確保  
 ⑤ 親族間の相続問題       ⑥ 相続税・贈与税の負担       ⑦ 株式や事業用資産（不動産など）の買取  
 ⑧ 役員・従業員の支持・理解       ⑨ 取引先との関係維持       ⑩ 現場改善、経営改善による事業の収益性の向上  
 ⑪ 地域における事業の評価       ⑫ デジタル化の推進       ⑬ 雇用の維持       ⑭ 技術力の向上  
 ⑮ 借入れに対する現経営者の連帯保証       ⑯ 借入れに対する後継者の連帯保証       ⑰ 金融機関との関係維持  
 ⑱ 自社の事業価値がわからない（株の評価を含む）       ⑲ 特になし ※他の選択肢に当てはまらない場合のみ

## 9. 経営上の悩みや課題について、身近に相談できる方はいますか？

- ① はい       ② いいえ

※以下、①を選んだ方のみご回答ください。

## 10. どういった方に相談しますか？当てはまるものすべてを選んでください。

- ① 商工会・商工会議所       ② 中小企業団体中央会       ③ よろず支援拠点       ④ 公認会計士・税理士  
 ⑤ 弁護士・司法書士       ⑥ 社会保険労務士       ⑦ 中小企業診断士       ⑧ 金融機関  
 ⑨ 取引先・同業者       ⑩ 親族・友人       ⑪ 行政（県・市町村）       ⑫ 鳥取県事業承継・引継ぎ支援センター  
 ⑬ その他

その他の具体的な内容

## 11. 事業の引継ぎについて無料で相談できる「鳥取県事業承継・引継ぎ支援センター」についてご存じですか？

当てはまるものを1つ選んでください。

「鳥取県事業承継・引継ぎ支援センター」とは

国の委託により（公財）鳥取県産業振興機構が運営する、事業承継・引継ぎについての公的な相談窓口です。身近な相談窓口として、これまで大切に培ってきた経営資源を、親族内承継、従業員承継、M&A などにより、意欲のある事業の担い手にバトンタッチするためのお手伝いをします。

◎相談は無料、秘密厳守で対応します。◎相談内容に応じて、利害関係のない専門家が助言・提案いたします。

◎センターで対応が困難な場合には、外部専門家の紹介など、幅広い対応を行います。

◎M&A 支援機関に引き継いだ後も、事業承継が完了するまで支援いたします。

- ① 知っており相談したことがある       ② 知っており相談したい       ③ 知っているが相談したことはない  
 ④ 知らなかったが相談することはない       ⑤ 知らなかったが相談したい

その他、事業継続の支援に向けてご意見等ありましたら記載をお願いします

これで質問はすべて終わりです。同封の返信用封筒によりご返送ください。（切手不要）

ご協力ありがとうございました。